Daito-City Hojyo Project

2017.3.

大東市公民連携アドバイザリー業務 北条まちづくりプロジェクト
基本計画案

本図書の一部または全部を無断で複写複製・転載・第三者へ譲渡することを禁じます。

01-1市営住宅建替え

市営住宅建替えと併せ、PPPの手法により若年２人世帯から核家族向け、小規模店舗併用などの
多様な一般民間賃貸住宅を共存させることで、活動的な若年世代の流入を計り、
まちのリ・ブランディング（エリアイメージの向上、再構築）、さらには住民の新陳代謝を促進させる。

【ターゲット】

１、３０代核家族世帯
２、これから子育てをする２人暮らし共働き世帯
３、北条地域でビジネス（商い）をする職住共存世帯

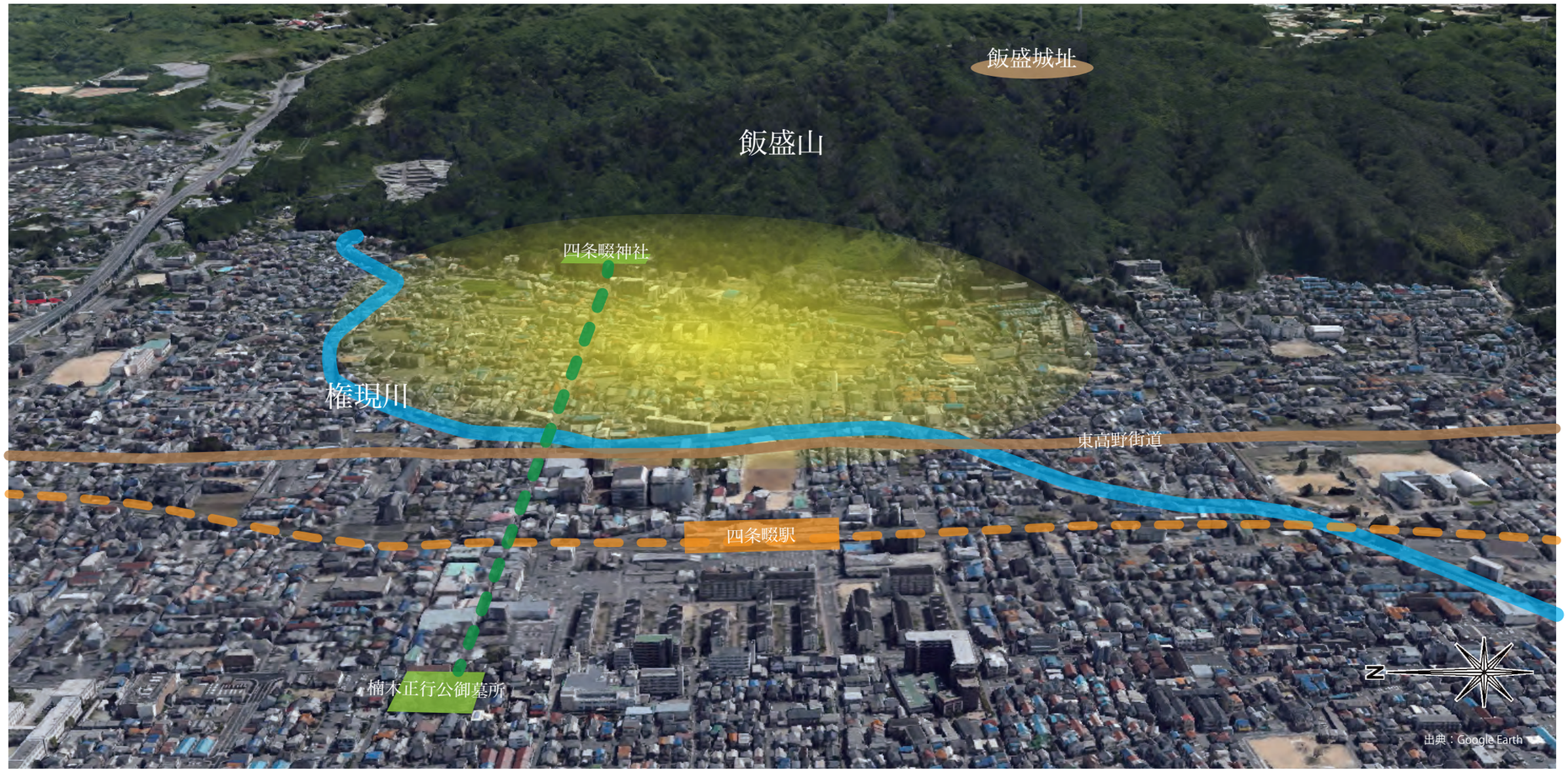
01-２地域住民交流を図るハブ空間（コモンスペース）の創出

・北条 権現川親水パーク
・親水パークに面するパブリックスパ（共同浴場）と開かれたラウンジ
・ブーランジェリーカフェとテラス
・小規模店舗併用住宅の連なるパサージュ
・ローカル生鮮三品を扱うマルシェ

本図書の一部または全部を無断で複写複製･転載･第三者へ譲渡することを禁じます。

北条地域は「飯盛山」と「権現川」に護られたまち

北条地域の象徴飯盛山は信長に先んずる戦国の天下人、三好長慶の居城飯盛山城を擁する。
城址からは京都から河内平野、遠くは須磨、淡路を臨み、今なお飯盛山が天下人の居城に相応しい土地であったことをしのばせる。
飯盛山を水源とする権現川は北条地区を緩やかに北東から西へ南へと、地域をまもるかのごとく円弧を描いて流れる。
水源が近いため水は清く。せせらぎから聴こえる水音は人々に安らぎを与える。
人々の歴史、ドラマを今に伝える父なる飯盛山と母なる権現川のせせらぎは北条に暮らす人々の強いアイデンティティーとなるであろう。

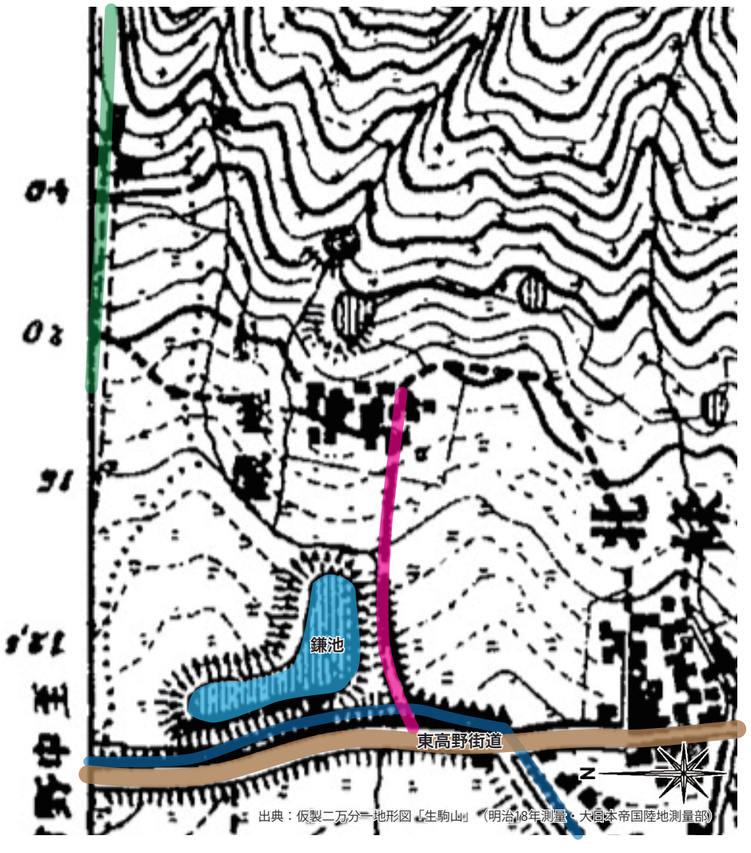


本図書の一部または全部を無断で複写複製・転載・第三者へ譲渡することを禁じます。

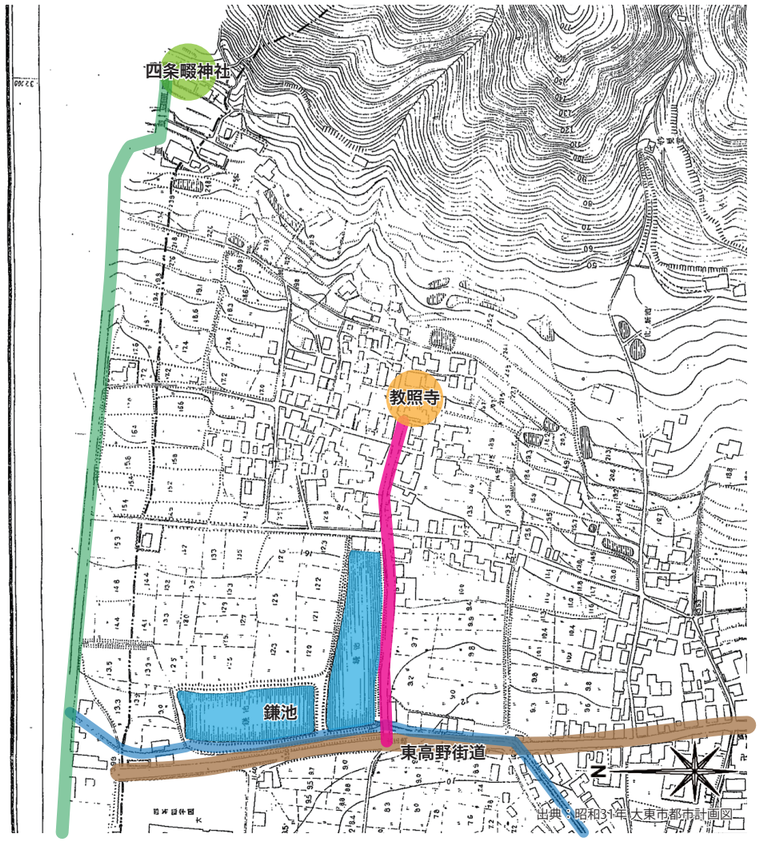
■北条地域の歴史的文脈

北条地域の中心軸、170号線から教照寺に至る現市道北条12号線

江戸期以前の北条地域は東高野街道沿道、生駒山系西側山の端に棚田をもつ小さな集落。
明治以降の大阪平野の市街地化とスプロールによって大阪郊外の住宅地へと変化していった。
現在の鎌池公園は鎌池という名の池（農業用水）であった。
東高野街道 国道170号線から鎌池公園の角を曲がり、教照寺へと向かう市道北条12号線は古くからこの地域の生活動線であった。



1886年（明治19年）



1956年（昭和31年）

2017年（平成29年）

本図書の一部または全部を無断で複写複製・転載・第三者へ譲渡することを禁じます。

■北条地域 エリアマップ

地域内循環と交流を育む遊休資産のネットワーク化

地域内に点在する遊休資産を各特徴を活かして活用し、
地域の軸となる市道北条１２号線を中心に人、物、事の地域内循環と交流を育む。

【遊休資産の活用策】

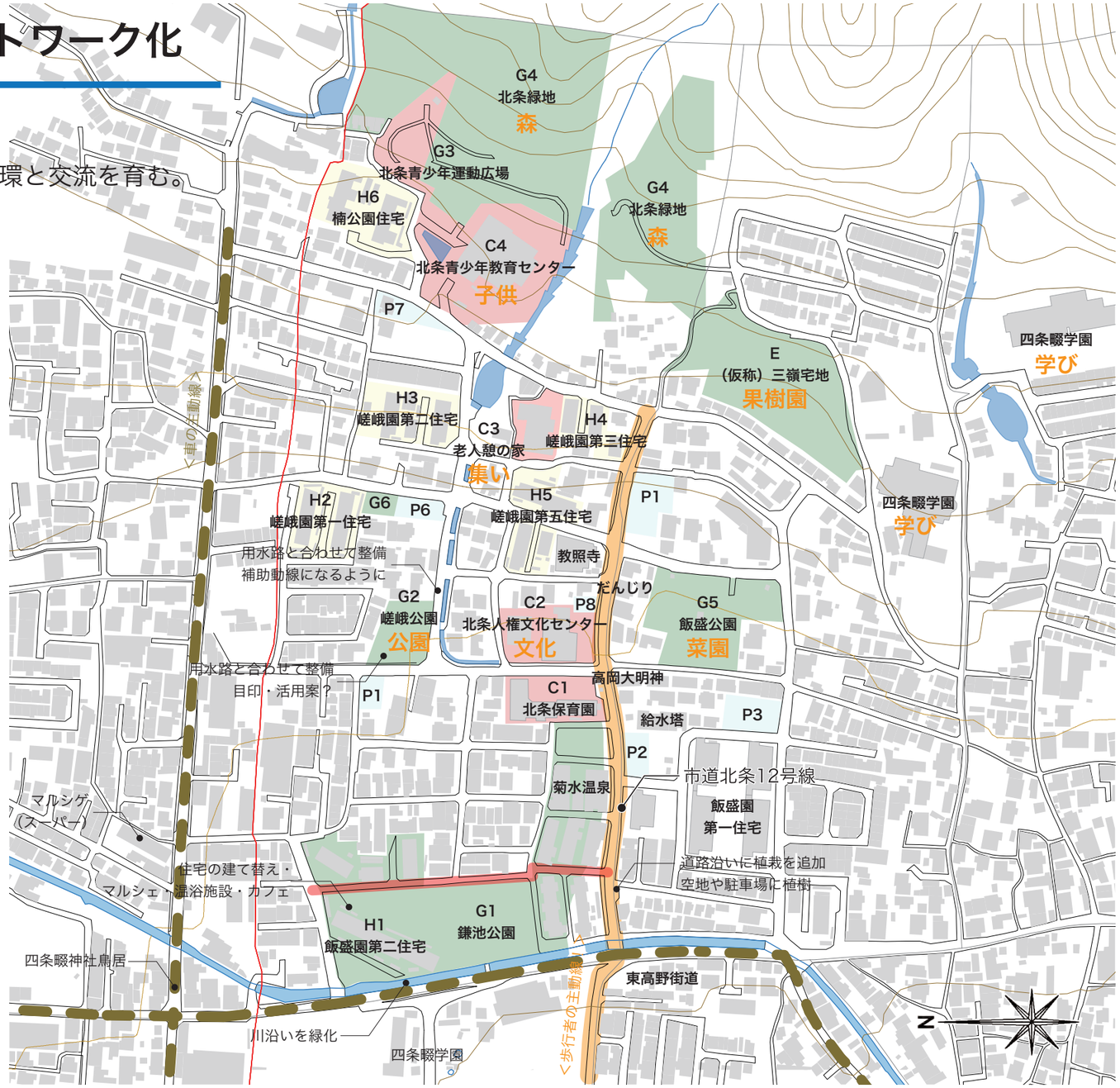
（G1/H1）飯盛園第二住宅/鎌池公園
→市営住宅、多様な一般民間賃貸住宅、権現川親水パーク、
親水パークに面するパブリックスパと開かれたラウンジ、
ブーランジェリーカフェとテラス、
小規模店舗併用住宅の連なるパサージュ、
ローカル生鮮三品を扱うマルシェ

（E）山嶺宅地
→斜面を活かした果樹園

（G5）飯盛公園
→菜園

【地域内循環と交流のヴィジョン】

・飯盛山のハイカーがパブリックスパで入浴
・店舗併用住宅のアトリエに住むアクセサリー作家が開く
ワークショップに地域住人が参加する
・地域の果樹園、菜園で採れた野菜をマルシェで販売
・果樹園で採れた果物のジャムを老人憩いの家で作る



本図書の一部または全部を無断で複写複製･転載･第三者へ譲渡することを禁じます。

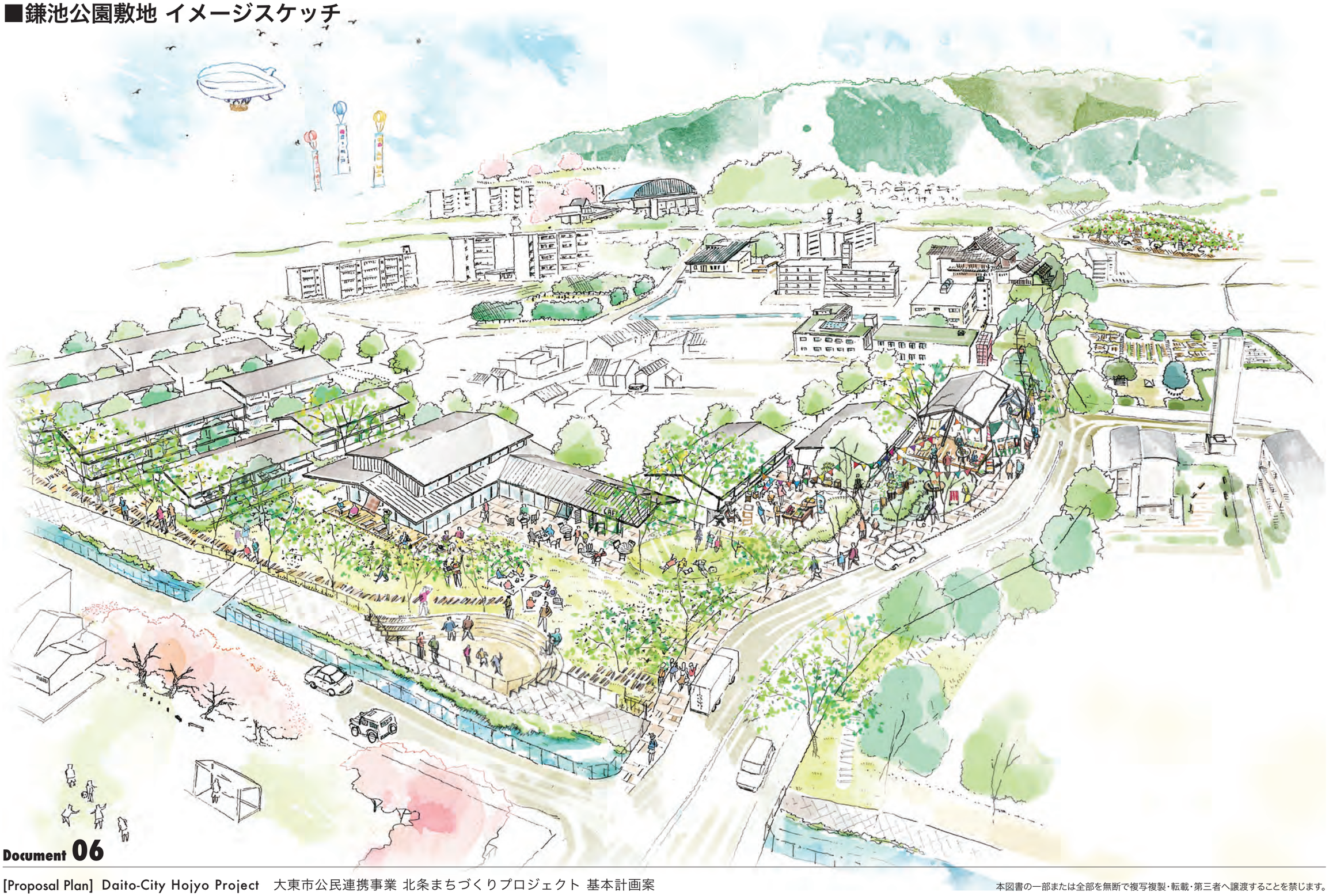
■北条地域 コンセプト

権現川の恵みから、実り多き大樹を育てる「北条の樹」

権現川の恵みを受けて、飯盛山へ力強く伸びていく「北条の樹」。
地域内の歴史的生活動線 市道北条12号線を地域の「幹」と捉え、
様々な地域内アクティビティが育つイメージ。
北条の樹の根元にあたる部分は「水源」となる かつての鎌池公園。
鎌池公園を中心とした本プロジェクトは北条のまちづくりの
根となり幹となり果実を生み、実り多き未来を育むであろう。

本図書の一部または全部を無断で複写複製・転載・第三者へ譲渡することを禁じます。

■鎌池公園敷地 イメージスケッチ



本図書の一部または全部を無断で複写複製・転載・第三者へ譲渡することを禁じます。